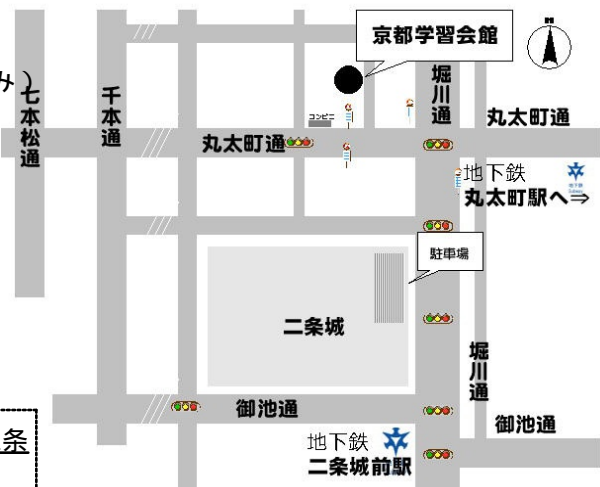


京都学習協の第30回集中セミナー 募集要項

申し込みは、このテーマを学びたいと思う方は誰でも参加できます。
 申し込みの手続きは、簡単です。「申込書」に必要事項を記入し申し込んでください。
 FAXでも申し込みができます(受講料は当日お支払いください)。

講義時間は、午後1時～5時
 (休憩も含みます)
 受講料は、2,500円です。(税込み)
 会場は、京都学習会館
 (上京区堀川丸太町西一筋目上ル)です。

申込先)
京都労働者学習協議会
 上京区堀川丸太町西一筋目上ル『京都学習会館』内
 電話(075)841-8141
 FAX(075)821-3665



二・四輪共に駐車場はありません。二条
 城市営駐車場へお願いします。
 地下鉄丸太町駅・二条城前駅から『京都
 学習会館』まで歩いて10分以内です。

京都学習協の第30回集中セミナー 申込み日時			年	月	日
フリガナ			性別		年齢
氏名:			男・女		才
現住所:					
職場・学園:					
労働組合名:			(全国単産名:)
電話: 職場()			自宅()		

第30回集中セミナー



マルクスの哲学思想を手がかりに

問的価値とはなに

講師 牧野 広義 阪南大学教授

Intensive Seminar Vol.30



京都学習協 第30回集中セミナー
 日時 2013年9月1日
 日曜日 13時～17時
 受講料 2500円
 会場 京都学習会館

人間的価値とはなにか

マルクスの哲学思想を手がかりに

牧野 広義・阪南大学教授

この集中セミナーでお話する「人間的価値」とは、人間自身の価値を意味します。人間の一人一人がかけがえのない価値をもっています。このことを「世界人権宣言」は「人間の尊厳」と表現しています。「日本国憲法」は「国民は個人として尊重される」と表現しています。これらはいずれも、一人一人の人間のかけがえのない価値を認め、それを実現するために、人間の権利（人権）を保障することを宣言しています。

このような「人間の尊厳」や「個人の尊重」を、私は「人間的価値」と表現します。それは、人間自身の価値としての「人間的価値」が、「自然的・物質的価値」や「社会的価値」、「身体的・精神的価値」の根拠となっていると考えるからです。自然や物質に価値があるのは、それらが人間の生存を保証し、人間の生活に役立つからです。社会の経済制度や政治制度などに価値があるのは、それらが人間の社会生活を支えているからです。そして身体的価値は人間の健康を増進し、精神的価値は人間自身を豊かにするからこそ価値があると言えます。

この集中セミナーでは、このような「人間的価値」について、マルクスの哲学思想を手がかりに考えます。マルクスの価値論といえば、商品の価値を形成するのは人間の労働であるという『資本論』の議論が有名です。しかし、これはあくまでも商品の価値についてのマルクスの分析です。『資本論』のなかでマルクスは、商品でないものも「使用価値」があると言って、空気、処女地、自然の草原、原生林などをあげています。またマルクスは、富の源泉は自然と人間であると言っています。自然と人間こそが富の源泉としての価値をもつのです。

このような視点からマルクスの思想を見ると、経済学的な価値論だけでなく、哲学的な価値論が浮かび上がってきます。そもそも人間が自然を変える労働を行うのは、「よりよい生活」とつくるためです。人間が社会を変革する実践を

行うのは、「よりよい社会」をつくるためです。この「よりよい」ということが価値です。そして「よりよいもの」をつくるためには、「よいもの」と「悪いもの」とを区別しなければなりません。これは、何がよくて何が悪いかを判断する価値判断です。人間の主体的な実践には、このような価値判断が不可欠です。

しかも何がよいか、悪いかには、価値をめぐる対立が含まれます。資本家にとっては労働者の低賃金や長時間労働は、大変よいものです。しかし労働者にとってはそれは人間らしい生活を破壊するものです。このように、階級社会では価値をめぐる対立は明瞭になります。ここには、価値は社会的・歴史的に相対的なものだという特徴が示されています。

しかし、労働者のたたかいは、人間らしい生活を守るために、まともな賃金を保障し、労働時間を制限する方向で、社会を動かしてきました。これはILOの提唱する「ディーセント・ワーク」というスローガンにもなっています。この言葉は「人間らしいまともな労働」と訳されます。ここには「まともな」という価値と、また何がまともかといえば、「人間らしい」ことが「まとも」だという内容が表現されています。

このほかに、「世界人権宣言」や「日本国憲法」などが掲げる、平和や人権、民主主義、そして環境保全も、人類にとって普遍的な価値であることが認められています。しかしもちろん、現代の日本で憲法を改悪するか、それとも憲法を活かして憲法どおりの国をつくるかというたたかいは行われているように、平和、人権、民主主義、環境などの普遍的な価値も、労働者と市民のたたかいによってこそ実現できるものです。

マルクスは、資本主義社会の変革によって実現される未来社会を「人間的社会」とも表現しました。それは、人間の本質（自由な意識的活動や社会的共同性）が真に実現できる共産主義社会を意味します。マルクスはこのような「人間的社会」としての未来社会を形成する物質的基礎が資本主義社会から形成されると考えました。

この集中セミナーでは、このような問題を皆さんとともに考えたいと思います。

